


しまねの土地改良だより

平成 24 年 10 月 1 日発行

 水土里ネット島根

■ NHKニュースで「ため池ハザードマップ作成システム」を紹介

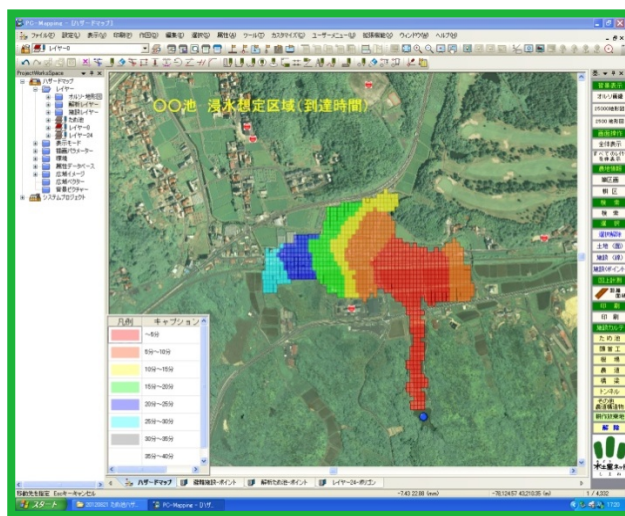
本会が取り組む「ため池ハザードマップ作成システム」が、9月3日にNHK松江放送局制作の「しまねっとNEWS 610」で紹介されました。

このシステムは、(独)農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所(つくば市)が開発した「ため池決壊時氾濫解析システム」で解析した、ため池堤防決壊時の洪水到達時間やその範囲、また浸水深さなどを、本会の「水土里情報システム」に取り込み、パソコン画面で表示できるシステムです。

また、このシステムでは、ため池が決壊した場合に浸水想定区域内に居住している方や職場に勤務されている方、また農作業をしている方などが迅速・的確に避難を行なえるように、集会所や公民館、地域の高台にある公園など、被災時の緊急避難場所の情報を入力して、ため池ハザードマップを安価で作成することができます。

県内には、約5000箇所のため池があり、その多くは築造年代が古く老朽化が進んでいますが、農家の高齢化等により維持管理も難しくなり、地震や大雨でため池が決壊し農地や民家などに大きな被害をもたらすなど大変危険な状態となっているため池も少なくありません。

近年、台風・集中豪雨、竜巻等々による大災害が多発しており、被災予測情報等を整備し、効果的かつ効果的な防災対策が求められています。行政だけではなく、地域住民等の幅広い参画のもと、地域のハザードマップ作成などを通じて、地域全体で災害に強い農村社会を形成していくことが求められており、本会でもその支援に積極的に取り組んでいきます。



《しまね水土里情報システム画面》

◆システムに関するお問い合わせ先

島根県土地改良事業団体連合会

担当部署 水土里情報センター

担当者 大岩、経種

TEL 0852-32-4141(代)

・NHKニュースで「ため池ハザードマップ作成システム」を紹介	1
・川本町「市原ため池」で草刈りボランティアを実施	2
・山王寺「田んぼの学校」稲刈りコース	2
・「大門ため池」池干しによる外来種駆除	3
・農林漁業団体等同和対策推進担当者等啓発研修会の開催	3
・島根県農業土木研究会・農業農村活性化部会から要望	4
・「農業用水を活用した小水力発電施設見学会 in 富山」	4
・今月の主な予定	4

■ 川本町「市原ため池」で草刈りボランティアを実施

邑智郡3町で組織する邑智郡土地改良事業団体協議会（会長 石橋良治邑南町長）は、9月25日島根県農村災害ボランティア（会長 田中修県土連専務理事）との共催で、川本町市原ため池の草刈り・点検活動を行いました。

当日は、協議会員を始め地元営農者、農村災害専門技術者、島根県、県土連などから総勢40名が参加し作業が行われました。

作業開始にあたり行われた開会式では、協議会を代表して三宅実川本町長から「本日の活動は、森林やため池が水環境を支えていることを認識し、里地、里山という重要な環境を後世に継承していくことを目的として計画したもので、本日参加いただいた皆様にお礼申し上げます。」と述べられました。

市原ため池は、貯水量4800m³、堤頂幅1m、堤高2.5m、堤長42mと比較的小規模なため池で、約2haの水田を潤す重要な農業用水源として利用されていますが、堤体上下流法面の浸食もあり老朽化が進行しています。

作業は約2時間で終了しましたが、途中の休憩時間には、地元農家の方から米の無農薬栽培の取り組みの紹介、また、作業終了後には、ため池やその周辺の水源林の「手入れ」の重要性等についてのワークショップが行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。

県内には、約5000箇所のため池（川本町：約140のため池）がありますが、過疎化、高齢化等農山村を取り巻く様々な要因により維持管理が困難な状況となっており、ため池の機能や安全性の低下などが課題となっています。

ため池は、農業に大切な水源であり、防火用水など多面的機能を兼ね備えている地域の財産です。農村災害ボランティアでは、今後も県内の各地域協議会などと協力し合いながら「農地・農業用施設等の防災・減災活動及び水源林保全活動」の一環として、このようなボランティア活動を実施していく予定です。



■ 山王寺「田んぼの学校」稲刈りコース

9月30日、台風17号の影響で小雨の降りしきる中、雲南市大東町山王寺で山王寺本郷棚田実行委員会主催の「田んぼの学校・稲刈りコース」が、地区内外から家族連れや棚田オーナーなど90名程の参加により行われました。



雨のため予定された稲わらで作る稲を束ねる「ヨリ」の作り方指導や参加者がハデに登ることは取り止めとなりましたが、皆さん楽しんで古代米の稲刈り作業を行いました。

稲刈り後は、地区の皆さんにより新米のおにぎりや豚汁が振る舞われ、参加者は満足しきりで、中には古代米のファンも多く、10月21日（日）に開催される「収穫祭コース」が待ち遠しい様子でした。

■ 「大門ため池」池干しによる外来種駆除

9月30日、雲南市大東町山王寺「大門ため池」において、海潮地区農村環境活用推進地域協議会（委員長 宮川昇）主催によるブラックバス等の外来種駆除が、地元住民、市、県、一般参加者約80人が参加して行われました。

ため池は棚田や下流域の農地に水を供給する重要な役割を担っているものの、近年では特定外来生物に指定されているブラックバス等が増え、水質悪化や生態系に影響を及ぼしています。この活動により地域内外の住民にため池の役割の重要性等を理解してもらい、後世に良い形で引き継ぐこと、生態系保全を目的に実施されました。

ため池での捕獲作業は腰まであるヘドロに足を取られ思うように動けない中での作業でしたが、皆さんの懸命の作業により多数の外来種400匹（ブラックバス216匹、ブルーギル184匹）や在来魚が捕獲されました。

捕獲した外来種を前に、島根県立宍道湖自然館（ゴビウス）の越川館長から「捕獲した在来魚のうち、コイやフナのこどもは殆ど確認できず、外来種が大門ため池の生態系に悪影響を与えている。また、昨年来外種駆除を行った『うしおの沢池』では、フナやどじょうのこどもが増え本来の生態系に戻りつつある状況である。」との報告がありました。

外来種駆除活動はため池が本来の役割を取り戻すことができる重要な活動です。水土里ネット島根は今後ともこのような活動を支援していきたいと思っております。



■ 農林漁業団体等同和対策推進担当者等啓発研修会の開催

本研修会は、農林漁業団体における同和問題を始めとした人権問題に対する理解と認識を深めるとともに、農林漁業団体が自ら行う同和問題解決への取組を支援するために行われる研修会です。

非常に堅苦しく思われる研修会ですが、日常の職場での人と人との触れ合いの中に潜む「人権問題」に気づくヒントとなるような研修会ですので、同和対策推進担当者に限らずいろいろな方に参加していただきますようお願いいたします。

なお、土地改良区会員の皆様には後日文書にてご案内いたします。

1. 開催場所及び日程

地区	会場	開催日	研修時間
隠岐	島根県隠岐合同庁舎	11月9日(金)	9:20～12:05
浜田	浜田ワシントンホテル	11月16日(金)	13:20～16:05
松江	サンラポーむらくも	11月22日(木)	13:20～16:05
出雲	ニューウェルシティ出雲	11月28日(水)	13:20～16:05

2. 研修内容

- ① 講義 「迷信・風習と人権」
- ② ビデオフォーラム「人権のヒント<職場編>」気づきのためのエピソード集

■ 島根県農業土木研究会・農業農村活性化部会から要望

9月13日、島根県の土地改良関係OB職員で組織する島根県農業土木研究会の農業農村活性化部会（会長 渡部和徳、部会員27名）から、部会員の積極的活用についての要望がありました。

長年土地改良行政に携わってこられ、経験豊かな部会員の皆様には、農村災害ボランティアを始め、農業・農村活性化のため、各方面でご協力をいただいています。

■ 「農業用水を活用した小水力発電施設見学会 in 富山」

平成24年9月6日～7日、全国農業用小水力発電推進協議会の主催により、小水力発電の先進県である富山県の小水力発電所において見学会が開催され、本会から1名出席しました。

富山県は、農業用水を利用した発電所が33箇所あり、そのうち今回は、下記の5か所を見学しました。その際の資料等が必要であれば本会へ問い合わせください。（担当：石築）

- ①安川発電所（南砺市安川地内） 最大出力=640kW H=20.7m Q=4.00m³/s
- ②庄川合口発電所（南砺市庄川地内） 最大出力=570kW H=10.7m Q=6.50m³/s
- ③山田新田用水発電所（南砺市殿地内） 最大出力=520kW H=25.2m Q=2.64m³/s
- ④仁左エ門用水発電所（中新川群立山町） 最大出力=460kW H=24.5m Q=2.40m³/s
- ⑤常西公園小水力発電所（富山市上滝地内） 最大出力=9.9kW H=2.0m Q=0.80m³/s

■ 今月の主な予定

- 10月 2日（火） 奥出雲地域農村振興フォーラム（奥出雲町 主催：国土経営研究会）
- 10月10日（水） 再生可能エネルギー導入施設先進事例視察（鳥取県）
- 10月20日（土） 平成25年度新規採用職員一次試験（県土連）
- 10月24日（水） 農林水産省との農業農村整備意見交換会（東京都）
- 10月30日（火） うしおの沢池農業用水・水源林保全活動（雲南市大東町山王寺）
- 10月31日（水） 金剛寺ため池草刈り隊（隠岐の島町）

みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町 432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp